

# 健康診査・がん検診のお知らせ

▶ 問い合わせ 健康課 ☎73-3014

## 【健康診査】

集団検診(下記の日程)または市内・観音寺市の実施医療機関で受診できます。受診される時は、6月に届いている青い封筒と保険証を必ずご持参ください。詳しくは同封の「ご案内」をご覧ください。なお、受診前には問診票および質問票(集団検診のみ)に記入してご持参ください。

	月 日	受付時間	場 所
集団検診	7月 11日(月)	9:00~11:30	三野町保健センター
	12日(火)	13:30~15:00	
	13日(水)	9:00~11:30	
	14日(木)	9:00~11:30 13:30~15:00	マリンウェーブ
	15日(金)		
	19日(火)	9:00~11:30	栗島開発総合センター
	20日(水)	9:00~11:30	
	21日(木)	9:30~10:30	豊中町保健センター
	25日(月)	9:00~11:30	
	26日(火)	13:30~15:00	
27日(水)	13:30~15:00		
医療機関検診	6月 1日(水)~ 10月31日(月)	医療機関にお問い合わせ ください	三豊市・観音寺市の実施医療機関

## 【がん検診】

### ●子宮頸がん・乳がん検診●

集団検診を下記の日程で行います。受診される時には、7月に届く白い封筒を必ずご持参ください。詳しくは同封の「ご案内」をご覧ください。子宮頸がん・乳がん(予約制)の検診申し込みがまだの人は健康課までお問い合わせください。

山本町・豊中町は8月、財田町・仁尾町・高瀬町は9月の予定です。

場 所	月 日	受 付 時 間	
		子宮頸がん	乳がん
マリンウェーブ	7月21日(木)	13:00~15:00 (14:00検診開始)	個人通知でお知らせします
	22日(金)		
	25日(月)		
	26日(火)		
三野町 保健センター	8月1日(月)		
	2日(火)		
	3日(水)		

※子宮頸がん・乳がん検診の無料クーポン(対象者に送付)をお持ちの人は、ぜひ受診しましょう。

### ●胃がん・結核、肺がん・大腸がん検診●

9月に案内が届きます。申し込みがまだの人は健康課までお問い合わせください。

※大腸がん検診は医療機関でも受診できます。

## 健診を健康づくりのスタートに!!

現在、40歳以上の人を対象に、特定健診が始まっています。この特定健診は、あなたのメタボ度を確認し、生活習慣を見直すきっかけとなるものです。毎年健診を受けることで、どのように見直せばよいか、健診実施機関で説明を受けることができます。

また、健診の結果により保健指導が必要とされた人は、特定保健指導といわれる専門職種による6カ月間の生活習慣改善支援が受けられます。

あなたのために、大事な家族のためにもぜひ、毎年特定健診を受けましょう。なお、実施期間や費用等、詳しくは健康保険証に記載のある保険者に確認してください。

▶ 問い合わせ 健康課 ☎73-3014

## 8月は児童扶養手当現況届の月です

児童扶養手当受給資格者は、毎年「現況届」の提出が必要です。対象者には、7月下旬に個別に通知書をお送りします。現況届を提出しないと、8月以降の手当を受けられなくなりますので、忘れずに必ず本人が届け出をしてください。

▶ 問い合わせ 子育て支援課 ☎73-3016

## 定期予防接種変更のお知らせ

### ● 日本脳炎予防接種

【対象】平成7年6月1日~平成19年4月1日生まれ  
※平成7年5月31日以前に生まれた人は対象外  
第1期接種は4歳以上20歳未満の間、第2期は9歳以上20歳未満で定期予防接種ができるようになりました。

☆13歳以上で、平成23年5月20日以前に市が発行した予診票をお持ちの方は、その予診票は使用できませんので、差し替えが必要です。子育て支援課にご連絡ください。

### ● MR4期(麻しん風しん混合) 予防接種

高校3年生相当が対象者ですが、高校2年生相当で修学旅行や学校行事の研修旅行で海外に行く人は、平成24年3月31日まで前倒しで受けることができます。

### ● 東日本大震災の特例

東日本大震災の発生により、対象年齢が過ぎてしまった人でも、8月31日までは予防接種を受けることができます。

※接種状況によって発行する予診票の枚数が異なります。接種を希望される人は、予防接種履歴が確認できるものをご用意のうえ、子育て支援課までご連絡ください。

▶ 問い合わせ 子育て支援課 ☎73-3016

## 麻しん(はしか)・風しん

～あなごっつてはいけない怖い病気～

麻しんは、麻しんウイルスによる感染症で、ウイルスによる感染症の中でも、特に怖い病気です。高熱が続く、合併症も多いため、発症した多くの人は入院治療が必要となります。肺炎、脳炎といった重い合併症を発症することもあります。

麻しんの感染力は極めて強く、学校で1人でも発症し、授業やクラブ活動等とおして免疫のない人が感染すると、必ず発症すると言われています。

感染拡大を防止するために、少なくとも2週間程度の休校措置をとることに、学校生活への影響も危惧されます。

風しんも、発熱と全身に淡い発しんがでる感染症です。はしかより軽いですが、妊婦が妊娠初期にかかると、おなかの赤ちゃんが感染し、心臓の病気になるったり、目や耳に障がいを生じたりすることがあります。

麻しんと風しんの発病を確実に予防するためには、合計2回の予防接種が必要といわれています。

麻しん風しん混合ワクチン(MRワクチン)の定期予防接種の対象者は、第1期(1歳児)・第2期(小学校入学前1年間にあたる児)に加え、第3期(中学1年生相当年齢)・第4期(高校3年生相当年齢)です。

過去に麻しん・風しんにかかったことがなく、これまでに予防接種を2回受けていない人は、早急に予防接種を受けましょう。



▶ 問い合わせ 子育て支援課 ☎73-3016

## 健康長寿応援

～熱中症に注意しましょう～

1. 日陰を歩いたり日傘や帽子で暑さを避けましょう
2. 吸水性に優れた服や下着を着ましょう
3. のどが渇く前からこまめに水分補給をしましょう
4. 体が暑さに慣れるには3~4日かかります。急に暑くなる日は注意しましょう

高齢者は屋内での熱中症の発症が増えていきます。部屋の温度にも十分気をつけ、熱中症かなと感じたら、すぐに涼しい場所に移り、体を冷やし、水分・塩分をとることが必要です。自力で水分がとれない時や、体がぐったりしている、意識がない時などは、すぐに救急車を呼びましょう。

▶ 問い合わせ 地域包括支援センター(介護保険課内) ☎73-3017

## 健康知っ得情報

みんな元気に

### COPDを知っていますか - 症状 -

COPDは慢性閉塞性肺疾患のことで、以前「肺気腫」「慢性気管支炎」と呼ばれていた病気をまとめた新しい病名です。セキ、たん、軽い労作中の息切れなどの症状が特徴で、数年間かけて進行し、異常に気付いた時にはすでに重症化していることがあります。自覚症状が軽い時点で診断を受け、治療を受け始めることが大切です。

### 今すぐCOPDチェック!

- 40歳以上でタバコを吸っている、または吸っていた
  - セキ・たんがしつこく続くことがある
  - 息切れがして以前と比べ階段の上りや坂道がづらい
- ※一つでも当てはまるようなら一度医師にご相談ください

▶ 問い合わせ 健康課 ☎73-3014